

目 次

●第1章	プリンタドライバのインストール方法 -----	2
	1. インストール -----	3
	1. 1 Windows 98/Me ドライバのインストール -----	3
	1. 2 Windows XP ドライバのインストール -----	7
	1. 3 Windows NT4.0/2000 ドライバのインストール -----	12
●第2章	印刷時の各種設定の操作 -----	18
	1. 印刷プロパティ -----	19
	2. Digica のプロパティ -----	20
	2. 1 用紙設定のタグ -----	20
	2. 1. 1 用紙サイズ -----	20
	2. 1. 2 用紙方向 -----	20
	2. 1. 3 回転印字 -----	20
	2. 1. 4 部数 -----	20
	2. 1. 5 バージョン情報 -----	20
	2. 2 画質設定のタグ -----	21
	2. 2. 1 二値化処理 -----	21
	2. 2. 2 コントラスト -----	21
	2. 2. 3 エッジ処理 -----	21
	2. 3 動作設定のタグ -----	22
	2. 3. 1 印字濃度 -----	22
	2. 3. 2 印字速度 -----	22
	2. 3. 3 印字位置補正 -----	22
	2. 3. 4 金箔印刷 -----	22
●第3章	主要項目の解説 -----	23
	1. 用紙設定の詳細 -----	24
	2. 画質設定の詳細 -----	24
	3. 動作設定の詳細 -----	25
<付録>	文字を美しく印字させるテクニック -----	29

第 1 章

プリンタドライバ インストール方法

Windows 98, Me
NT4.0, 2000, XP 版

1. インストール

本プリンタで印刷を行うには、「プリンタドライバシステム」が Windows にインストールされていなければいけません。このドライバシステムがインストールされていなければ、最初にドライバシステムのインストール作業を行って下さい。

「プリンタドライバシステム」は CD で提供されます。

1.1 Windows98/Me プリンタドライバのインストール

- 1) Windows を起動します。
- 2) インストール用 CD “Digica セットアップディスク” を PC の CD ドライブに挿入します。
- 3) スタートボタンをクリックし、スタートメニューの“設定 (S)” → “プリンタ (P)” をクリックします。



- 4) 「プリンタ」ダイアログが表示されます。
「プリンタの追加」をダブルクリックします。



- 5) 「プリンタ ウィザード」ダイアログが表示されます。「次へ>」ボタンをクリックします。



6) プリンタ接続先の設定

① プリンタを直接接続する場合

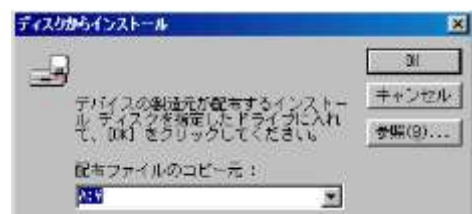
- ①-1 「ローカルプリンタ (L)」を選択します。
「次へ>」ボタンをクリックします。



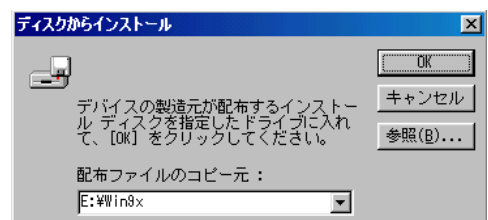
- ①-2 「ディスク使用 (H) ...」をクリックします。



- ①-3 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが表示されます。



「参照(B)」をクリックし、PCのCDドライブ名を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- ①-4 「Yamazakura Digica」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。



- ①-5 「LPT1: プリンタポート」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。



② プリンタをネットワーク接続する場合

- ②-1 「ネットワークプリンタ (N)」を選択します。
「次へ>」ボタンをクリックします。



- ②-2 ネットワークパスまたは印刷キュー名を、
入力または参照から選択して下さい。
MS-DOS アプリケーションから印刷しますか?で「いいえ (N)」を選択します。
「次へ>」ボタンをクリックします。



6

1.2 Windows XP プリンタドライバのインストール

- 1) Windows を起動します。
- 2) インストール用 CD “Digica セットアップディスク” を PC の CD ドライブに挿入します。
- 3) スタートボタンをクリックし、スタートメニューの“プリンタと FAX” をクリックします。



- 4) 「プリンタと FAX」ダイアログが表示されます。
「プリンタのインストール」をダブルクリックします。



- 5) 「プリンタの追加ウィザード」ダイアログが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



6) プリンタ接続先の設定

① プリンタを直接接続する場合

- ①-1 「... ローカルプリンタ(L)」を選択します。
「プラグアンドプレイ... (A)」のチェックを入れ、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-2 「新しいプリンタの検出」ダイアログが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



①-3 プリンタポートの選択

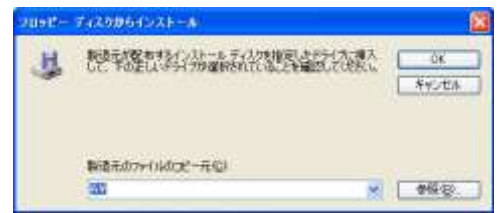
次のポートを使用(U)で「LPT1(推奨プリンタポート)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-4 プリンタを選択するダイアログが表示されます。
ディスクの使用(H)をクリックします。



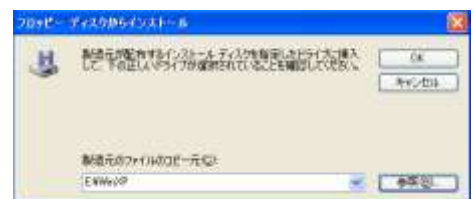
- ①-5 「フロッピーディスクからインストール」 ダイアログが表示されます。
「参照(B)」 ボタンをクリックします。



- ①-6 「ファイルの場所」 ダイアログが表示されます。
ファイルの場所で、CD ドライブを選択し、
Digica をクリックし、「開く(O)」 をクリックし
ます。



- ①-7 製造元ファイルのコピー元(C)で「E:¥WinXP」
を確認し、「OK」 をクリックします。



- ①-8 「Yamazakura Digica」 を選択し、「次へ(N)>」
ボタンをクリックします。



- ①-9 プリンタ名 “Yamazakura Digica” を入力し、
通常使うプリンタとして使いますか？では
「はい(Y)」 を選択します。
「次へ(N)>」 ボタンをクリックします。



- ①-10 プリンタの共有は「しない(O)」にチェックをし、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



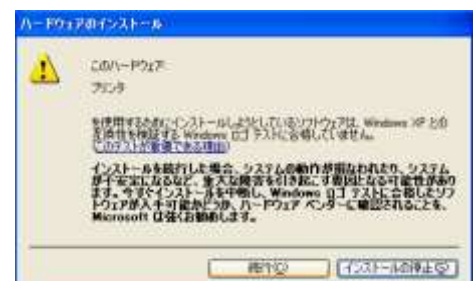
- ①- 11 テストページを印刷しますか？は「いいえ」にチェックをし、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①- 12 「完了」ボタンをクリックします。



- ①-13 確認のメッセージが出ますので「続行(C)」をクリックすると、インストールを開始します。



②プリンタをネットワークで接続する場合

- ②-1 「ネットワークプリンタ... (E)」を選択します。
「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-2 「プリンタを参照する(W)」を選択します。
「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-3 ネットワーク先を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-4 通常のプリンタとして使いますか? 「はい(Y)」を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。

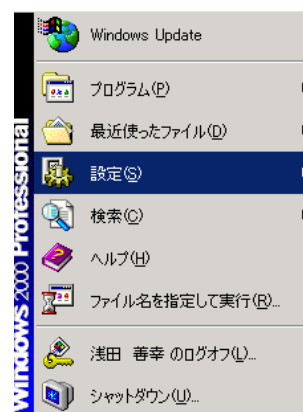


- ②-5 「完了」をクリックするとインストールを開始します。



1.3 Windows NT4.0、Windows 2000 プリンタドライバのインストール

- 1) Windows を起動します。
- 2) インストール用 CD “Digica セットアップディスク” を PC の CD ドライブに挿入します。
- 3) スタートボタンをクリックし、スタートメニューの“設定(S)” → “プリンタ(P)” をクリックします。



- 4) 「プリンタ」のダイアログが表示されます。
「プリンタの追加」をダブルクリックします。



- 5) 「プリンタの追加ウィザードの開始」ダイアログが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



6) プリンタ接続先の設定

① プリンタを直接接続する場合

- ①-1 「ローカルプリンタ(L)」を選択します。
「プラグアンドプレイ... (A)」のチェックを入れ、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-2 「新しいプリンタの検出」ダイアログが表示されます。「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



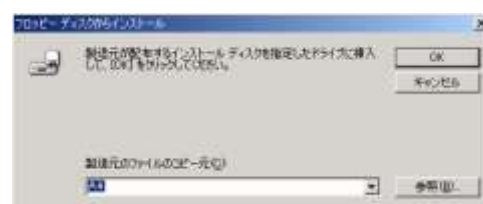
- ①-3 「LPT1:プリンタポート」を選択し「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



①-4 「ディスクの使用(H)」をクリックします。



①- 5 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログが表示されます。「参照(B)」ボタンをクリックします。



①-6 「ファイルの場所」ダイアログが表示されます。ファイルの場所で CD ドライブを選択し、Digica をクリックし、「開く」をクリックします。



①-7 ファイル名を確認して、正しければ「OK」ボタンをクリックします。



- ①-8 「Yamazakura Digica」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-9 プリンタ名を“Yamazakura Digica”を入力し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



- ①-10 「このプリンタを共有しない(O)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします



- ①-11 テストページを印刷しますか？は「いいえ(O)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックします。



①-12 「完了」 ボタンをクリックします。



①-13 確認のメッセージが出ますので「はい(Y)」をクリックすると、インストールを開始します。



②ネットワークで接続する場合

②-1 「ネットワークプリンタ(E)」を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



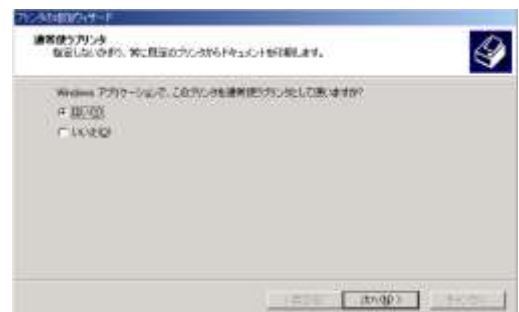
②-2 プリンタ名を入力するか、「次へ(N)>」をクリックしてプリンタを参照します。



- ②-3 ネットワーク先を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-4 通常使うプリンタとして使いますか？
「はい(Y)」を選択し、「次へ(N)>」をクリックします。



- ②-5 「完了」ボタンをクリックすると、インストールを開始します。



第 2 章

印刷時の各種設定の操作

<Super Mate ご使用の場合>

アプリケーションのプリンタのアイコンを選択すると印刷ダイアログが表示されます。

1. 印刷プロパティ

1.1 使用するプリンタ

「Yamazakura Digica」

1.2 印刷範囲

- ・すべての指定
- ・ページ指定「1 から 1 まで」

1.3 部数

「必要枚数」

＊プリンタ設定後最後に入力します。



プロパティをクリックします。

<Power Mate ご使用の場合>

印刷又は編集データ印刷を選択します。

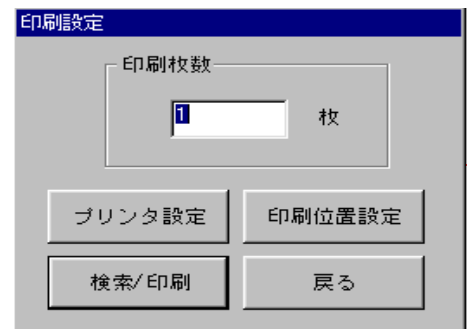
1. 印刷設定プロパティ

1.1 印刷枚数

- ・「必要枚数」入力

＊プリンタ設定後最後に入力します。

プリンタ設定をクリックします。



2. Digicaのプロパティ

2.1 用紙設定のタブ

2.1.1 用紙サイズ

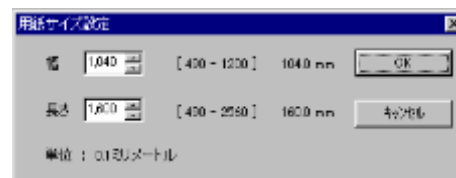
ユーザー定義	(104×160 mm)
はがき	(100×148 mm)
名刺3号	(49×85 mm)
名刺4号	(55×91 mm)
名刺欧米	(51×89 mm)
単カード2号	(103×154 mm)
単カード3号	(109×160 mm)

から選択します。




*ユーザー定義の設定は、**ユーザー定義**ボタンを押し、数値を入力して下さい。

幅 490～1200 長さ 490～2560
(幅の設定は‘490’から設定できますが、実際に印字できる最小用紙幅は‘850’です)



2.1.2 用紙方向


縦 (P)	*通常のアプリケーションの場合、縦名刺及びはがきは縦表示、
横 (L)	横名刺の場合は横表示されます。

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.1.3 回転印字

しない	*印刷方向を回転させる時に使用します。
90度	
180度	
270度	

*

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.1.4 部数

「必要枚数」入力

2.1.5 バージョン情報

バージョン情報をクリックすると、現状のバージョンが表示されます。



2.2 画質設定のタグ


- ・ロゴやイラスト等の画像にのみ、反映します。

2.2.1 二値化処理

ロゴ印刷
単純２値化
粗く
細かく
誤差拡散

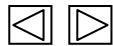
から選択します。



 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.2.2 コントラスト

画像の明るさ、暗さを調整します。



で設定します。


0～255まで設定できます。

*但し、ロゴ印刷は 0～30までです。

標準値
128

ロゴ印刷のみ

標準値
15

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.2.3 エッジ処理（文字の修飾に反映します）

強調…強調処理を行います。

する
しない

から選択します。

標準設定
する


シャープネス…シャープネス処理を行います。

する
しない

から選択します

標準設定
しない

*シャープネス処理で「しない」を選択すると、文字ごとに最適なエッジ処理を行っていますが、さらに文字のエッジをシャープに出力したい場合「する」を選択して下さい。

 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3 動作設定のタブ

2.3.1 印字濃度

印字の濃さ、薄さを調整します。

◀ ▶ で設定します。

1 ～ 20 まで設定できます。

(ロゴ等画像が入る場合には幾分設定値を低くしてください)

注 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

標準値

10

2.3.2 印字速度

印字の速さ、遅さを調整します。

◀ ▶ で設定します。

20 ～ 65 まで設定できます。

(但し実際 40 ～ 55 の範囲でご使用ください)

標準値

50



△ 注 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3.3 印字位置補正

縦・横の印字位置を補正する事が出来ます。

△ 注 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

2.3.4 金箔印刷

金箔を印刷する際に設定を行います。

△ 注 詳細は「主要項目の解説」をご参照ください。

第 3 章

主要項目の解説

3. 主要項目の解説

1 用紙設定の詳細

縦名刺…プロパティ内の用紙方向	“縦”	回転90°	又は270°
横名刺…プロパティ内の用紙方向	“横”	回転しない	又は180°
はがき…プロパティ内の用紙方向	“縦”	回転しない	又は180°
はがき…プロパティ内の用紙方向	“横”	回転90°	又は270°

2 画質設定の詳細

- ・二値化処理とコントラスト

画質設定は、BMP等の画像に影響する設定項目です。

画質設定は、画質モードとコントラストにより印刷内容が変化します。

2.1 二値化処理（初期値は“単純二値化”“128”です）

モード	コントラストの範囲	標準値	主な目的
ロゴ印刷	0～30	15	ベタ物のロゴ等を印刷する場合に使用
単純二値化	0～255	128	白黒に二値化され、ハフトン物は線画となります
粗い	0～255	128	ハフトン物の色を淡く、グレーに近く出したい時に使用
細かい	0～255	128	ハフトン物を平均的に印刷する場合に使用
拡散	0～255	128	写真物を印刷する場合に使用（Digicaでは写真はきれいに印刷されませんので、ご注意ください。）

●使用方法

- ・ベタ物のロゴ等の場合 ————— ロゴ印刷又は単純二値化
- ・年賀状の絵柄等のハフトン（階調が有るもの） — 細かい

（注）①画面上の画像に、黄色等の明るい色をつけている場合には、必ずロゴ印刷で印刷して下さい。

②フルカラーの画像を Digica でモノカラー出力する場合、美しく出力されない場合があります。画像処理ソフトでグレースケールに直してからご使用される事を、お勧めします。

2.2 コントラスト

- ・コントラストは、数値を大きくする程明るくなり、小さくする程暗くなります。
- ・標準値は、ロゴ印刷“15”、他のモード“128”となっております。
最初は、標準値で印刷してみてください。
- ・ロゴ印刷、単純二値化のモードを選択した時は、コントラストは標準値でお使い下さい。

2.3 エッジ処理

- ・強調…細い線等のかすれやすい文字に対しドライバーソフト上で補正し、やや太くしてかすれるのを防止する機能を持ちます。

する	…強調処理を行います
しない	…強調処理を行いません

- ・シャープネス…つぶれやすい文字に対しドライバーソフト上で補正し、描線間の空白を強調し、印刷時の線間つぶれを減少させる機能を持ちます。

する	…強制的に書体、ポイントに関係なく補正します。
しない	…自動的に書体、ポイントを判断し補正をコントロールします。

＊初期設定は 強調 ‘する’ シャープネス ‘しない’

3 動作設定の詳細

3.1 印字濃度

- ・ 1 ～ 20 の範囲で自由に設定
- ・ リボンの種類により濃度の設定は変化します。

＊初期設定は ‘10’

＊カラーリボンや画像が入る場合には、濃度を低くした方がきれいに印字されます。

3.2 印字速度

- ・ 20 ～ 65 の範囲内で自由に設定。(実質 40 ～ 55 の範囲でご使用ください)
(＊この数字は、 $\times \times \text{mm} / \text{秒}$ を示します。)
- ・ 数値を大きくする程、速くなりますが設定値の範囲の目安は 40 ～ 55 で、これ以上速くすると印字品質が低下したり、重送、給紙不良が発生しやすくなります。

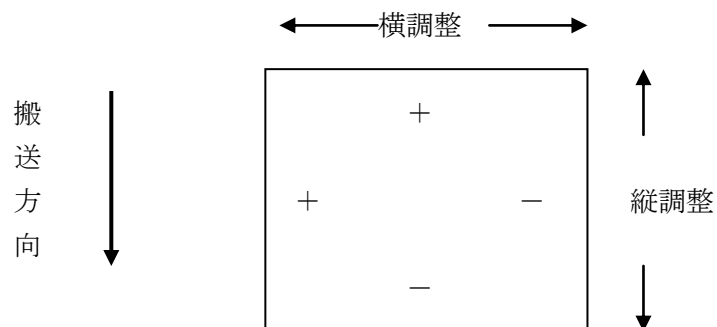
＊初期設定は ‘50’

3.3 印字位置補正

縦・横の印字位置を補正する事が出来ます。(約 0.1mm 単位)

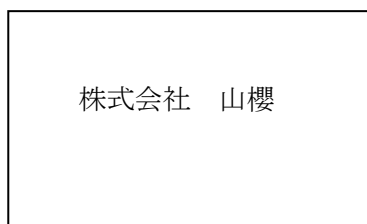
縦補正 (+4mm~-4mm) 横補正 (+2mm~-2mm)

*用紙方向・回転方向に関係なく、搬送方向によって調整します。



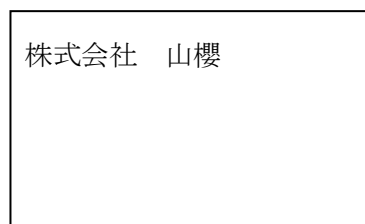
例) 横名刺 回転印字 180° の場合

位置調整前



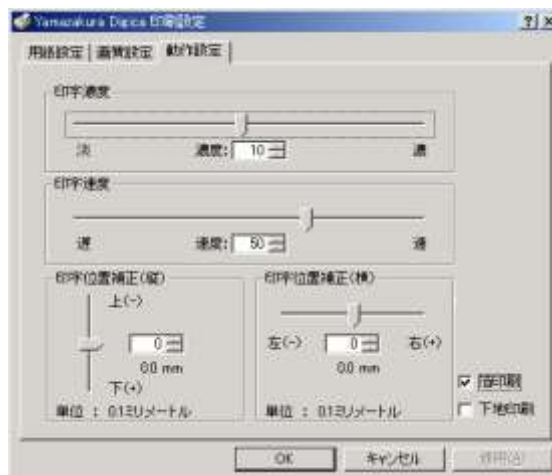
調整後 (縦・横 + 方向に動かしました)

搬送方向
↓



3.4 金箔印刷

- ・箔印刷の場合（金箔リボンでの印字）



金箔リボンにて印刷する際は、箔印刷のチェックボックスをチェックして「OK」ボタンをクリックします。

（下地印刷のチェックボックスがチェックされていると、自動的にチェックが外れます。）

- ・下地印刷の場合



下地処理（下地リボンを印刷）をする際、下地印刷チェックボックスをチェックして「OK」ボタンをクリックすると、下地印刷機能が有効となります。（箔印刷のチェックボックスがチェックされていると、自動的にチェックが外れます。）

※ 通常印刷をする際は、箔印刷 ・下地印刷両方のチェックボックスのチェックを外して「OK」ボタンをクリックします。

文字を美しく印字させるテクニック

用紙の種類や書体・ポイント数により異なりますが、おおよそ下記の手順で実施してみてください。

1) 書体に合わせたシャープネスの設定

7 ポイント以下の文字及び、つぶれる文字があるときに有効です

- ・通常の場合には、シャープネス「しない」に設定してください。これにより自動的に書体とポイント来判断して最適な文字補正を行います。描線間の空白を強調します。
- ・シャープネス「する」に設定すると、強制的に書体やポイントに関係なく文字のエッジを細くします。勘亭流や江戸文字、POP 体など極太書体に有効です。
- ・細線強調は通常「する」に設定してご使用ください。

2) 濃度に合わせた設定

- ・ファインブラックリボンの使用

濃度 7 ～ 10 でご使用ください。但し画像が入る場合にはやや濃度を落としてご使用ください。濃度が高くなりすぎると①文字や画像が薄く印字される、②画像上に「しわ」や「穴あき」、「リボンの溶けかすの付着」等が発生します。

- ・コート紙用リボンの使用

ミラー等のコート紙に印字する場合にご使用ください。普通紙を使用される場合でも両面印刷をする際、汚れや裏うつりが発生することがあります。その場合にコート紙用リボンをご使用ください。

- ・カラーリボンの使用

濃度を落としぎみに設定してください、発色が良くなります。

＜上記の設定でも美しく印字されない場合＞

- ① 印刷スピードを「50」→「40」に下げる。
- ② 回転印刷で印刷してみる。
- ③ ヘッド圧（メカ機構）を「L」→「H」に設定する。

※但し、上記設定は用紙の種類や機械の固体差がある為あくまで目安となります。

3) 用紙に合わせた設定

使用できない用紙

0.38mm 以上の用紙・レザック・エンボス・桐・トレーシング・ざらざらした和紙・厚手の大札紙等。

条件付で使用可能用紙

○コート系用紙（ミラー・ダイヤ・ルビー・ロマン等）…通常の黒リボンでは裏うつりするので、専用コート系黒リボンをご使用下さい。

※専用コート系黒リボンをご使用になられても印刷ののりが良くない場合は、ヘッド圧「H」で印刷すると美しく印字されます。

用紙による設定目安

プリンス・エリート・マイルド等の用紙は、濃度をデフォルト値よりやや低めに設定。
ケント紙・コート紙・マット紙等はデフォルト値よりやや高めに設定。